

京都市では、学区、町内会、自治会などを単位に「自主防災組織」が構成され、日頃から地域で防災活動が行われています。

ぜひお住まいの地域で実施される防災活動に参加し、隣近所と助け合う「共助」により、災害に備え、乗り越えていきましょう！

備え② 危険な場所を確認しておきましょう

地震、水害及び土砂災害のハザードマップ等を見ておきましょう。外出時には、生活圏内の川、水路、急な斜面、老朽化施設など危険な場所を確認しておきましょう。

京都市 ハザードマップ	検索			
京都府マルチハザード情報提供システム	検索	ハザードマップ	京都府マルチハザード情報提供システム	

備え③ 非常持出品の用意

救援体制が整うまでの3日から1週間を自力で乗り切るために、必要なものを準備しておきましょう。

非常持出品	避難するときの最小限度の必需品です。		
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 貴重品・身分証	<input type="checkbox"/> 普段飲んでいる薬(お薬手帳)	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯・電池	<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオなどの情報機器	
備蓄物資	災害後、数日間を自足するためのもので、最低でも3日～1週間分の準備が必要です。		
<input type="checkbox"/> 水 目安:1人1日3ℓ	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 救急用品	<input type="checkbox"/> 防寒具など
食料の備蓄は、保存ができ、調理不要で食べられるような食料品を普段から余分に購入し、ストックしておきましょう。			
家族構成に合わせた準備をしましょう			
★乳幼児のいる家庭…→ 母子健康手帳・粉ミルク・ほ乳瓶・おむつ・お尻ふき・離乳食など			
★妊婦のいる家庭…→ 母子健康手帳・お薬手帳・診察券・下着・生理用品・清浄綿など			
★要介護者のいる家庭…→ おむつ・ティッシュ・補助具の予備・常備薬など			
★障害者のいる家庭…→ 笛やブザー・日常服用している薬とお薬手帳・連絡先のメモ その他日常から必要なものなど			

知識② 災害によって安全な場所(=逃げる場所)は異なります

- ★大地震などにより大火災が発生し、避難所に行くことができないとき → 広域避難場所
- ★地震などにより、住まいが被害を受け、生活することが困難なとき → 指定避難所
- ★水害の恐れがあるとき → 建物の上階、指定緊急避難場所(水害)
- ★土砂災害の恐れがあるとき → 斜面・谷から離れた安全な場所、指定緊急避難場所(土砂災害)

